

ケアマネ かわら版 Vol.34

2011年
4月号

松江地域介護支援専門員協会

事務局：〒690-0012
松江市古志原7-4-14
あおぞら介護センター内
TEL (0852) 20-2123
FAX (0852) 20-2122
E-mail : akapepa-j@mobile.ne.jp

松江地域介護支援専門員協会の使命

松江地域介護支援専門員協会

副会長 大森 和子

拝啓、皆様におかれましては、平素より松江地域介護支援専門員協会の活動にご理解・ご協力を賜り誠に有難うございます。

松江地域介護支援専門員協会では『今、松江のケアマネ達が求めていること』を探りその実現に向けた取り組みを行ってまいりましたので、今年度の活動状況を報告させていただきます。

まず、会員の皆様が抱える悩み・業務を行う上での問題点や課題等を把握するため、アンケート調査を実施。その結果を基に協会役員で調査・検討・行政との懇談を行い、ケアマネジャーの「現場の生の声」を伝えたところ、行政より「保険者として一緒に関わっていくべきことは前向きに取り組んでいきたい」との回答をいただく事ができました。

その一例として、介護申請の手続きを簡略化し本来の業務であるケアマネジメントの充実を図る事を目的として、以前から要望していた医師の意見書の直送が、来年度から行政にて予算化される事が決定致しました。

また、医師会と合同で作成した「医師とケアマネ

ジャーの連絡票」については、医師・ケアマネ双方より連携が図り易くなったとの評価をいただいております。

そして、孤立しがちであるケアマネ同士の横のつながりを作ることを目的として、今年度も様々な研修を企画致しました。大勢の方に参加いただき、皆様がいかに“つながり”を求めておられるのかを実感しています。

今後とも会員の皆様おひとりおひとりが元気になる事ができ、“自分の夢”を再確認できる場の提供に努めると共に、リニューアルしたホームページにて、協会活動のPR・研修内容及び介護保険に関する最新情報をお届け致しますので、是非、お役立て下さい。

現場の声を集約し、会員の皆様が、安心してケアマネジメントに取り組む事が出来るよう組織としてバックアップしていく事が、松江地域介護支援専門員協会の大きな使命だと考えております。

今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしく御願い致します。

福祉用具・介護用品の店

有限会社

げんき堂



本店 〒692-0011 安来市安来町 1083
☎ 0854-22-3652 FAX 0854-22-4222

松江店 〒690-0012 松江市古志原 3-7-31
☎ 0852-28-6041 FAX 0852-28-6045

有限会社 くにびきケアサービス

〒692-0007

鳥根県安来市荒島町 1732 番地 6

電話番号 0854-28-9898

FAX番号 0854-28-9588

福祉用具の貸与、販売、高齢者、障害者向け住宅改修、
どんなことでもお気軽にご相談下さい。

H22年11月19日 施設ケアマネ研修報告

先っではいけないケアマネの思い ～施設ケアマネに大切なもの～

介護老人保健施設 もちだの郷 秦 祐子

平日の仕事をあたふたと片付け（正確には、そこそこに積み上げて…）、滑り込みセーフ！で「いきいきプラザ」に駆けつけました。

講師の「社会福祉法人ウェルエヌシー」藤原 伸二様のお話にお客さん気分で臨んだところ、先ず私たちに放されたのは「今仕事をしていて、皆さんの夢や目標はなんですか？」と言う言葉でした。ムムムムムム。?????

皆さん、夢や目標を持って日々の仕事にのぞんでおられますか？

私の現力量は、目の前のケース・出来事の受け止めや対応に終始。その中で一喜一憂という現実。仕事において、私の目標って何だろう、夢って何だろうと心を揺さぶられることから始まりました。要するに「目指すところや目標がない、職員が志をもてない、ぶれない軸のない施設やケアマネジメントでは、よいチームや組織はつくりえない。」「マネジメントの中核であるケアマネさん、あなたはどうかの？」という投げかけだったのです。

グループでの座談会と合わせて進められたお話ですが、座談会のなかでは、大きな夢「日本の福祉を変えたい」と思ってケアマネになりました！」もあれば、新設の施設ケ

アマネさんからは「入居者の方が、笑ったり怒ったり…自分の気持ちを出していただける施設にしたい！」などと、様々な気持ちが語られました。

「今のあなたの課題は何ですか？」と問われれば、きつと難しい顔での語らいとなったと思います。夢や目標が語られる時には、皆「よい顔」になるものですね。耳を傾ける側のまなざしも、微笑みのある相づちなどで自分が肯定的に受け止められ、とても理かて気持ちの良い交わりの時間がもてました。

「よい顔」で仕事をしたいものです、ね。



松江市ケアマネ研修会「はずさない初回面接」に参加して

津田居宅介護支援センター 神庭 富士子

渡部律子先生の研修に初めて参加することができました。研修に参加するにあたり、初めてのことでしたが、逐語録等の作成を行い、言葉のやりとりを記述することで関わり方を再確認することができました。事前の情報収集は大切ですが、その情報によって、偏った見方をしたり、面接前から過度に不安がったりしていたことに気がつくことができました。

DVDを使用しての演習は、初心者の相談員が誰でも



陥りやすい援助対応例でした。相談者の言葉の背景を考えることなく、サービスの情報を提供しています。まるで3年前の自分を重ねて観るような思いでした。「この人だったら話せる、相談してみよう。」と思ってもらえることが如何に難しいか？相談者は何を求めているのか？学ぶことがたくさんありました。

実際の初回面接事例（講師による演習）は稀な事例でしたが、OMが面接を行う前にポイントを絞って整理し、目的をきちんと意識して臨み、事前に面接の結果を予測して準備や対応策を決めて訪問しておられました。また、期待とは異なった展開になった場合についても予測し対応策を考えておられました。

面接には必ず目的があります。研修に参加し、自分が行う面接中に目的が何であったか？焦点が薄れてしまうことが度々であったと振り返ることができました。今回の研修で学んだことをいつも心がけて今後の面接に臨みたいと思います。

制度調査部より

医師とケアマネジャーの連絡票に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート結果について、下記の通りご報告致します。

医師とケアマネジャーの連絡票に関するアンケート (ケアマネからの回答)

- [1] あなたは医師との連絡票を活用していますか
- | | |
|----------------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> 活用している | 76人 |
| <input type="checkbox"/> 活用していない | 11人 |
- (理由)
- 直接受診時向席したりこれまでの用紙で認定結果などの報告をしているので使用していない

活用した方にお聞きします。

- [2] 連絡票の回答はありましたか
- | | |
|---|-----|
| <input type="checkbox"/> あった | 50人 |
| <input type="checkbox"/> 回答してくれる医師と、してくれない医師がいる | 25人 |

- [3] どういう時に連絡票を活用していますか(複数回答可)
- | | |
|--|-----|
| <input type="checkbox"/> 介護保険の申請時(新規・更新・変更) | 27人 |
| <input type="checkbox"/> 相談に行く前のアポ取りをする時 | 43人 |
| <input type="checkbox"/> 担当者会議の案内をする時 | 23人 |
| <input type="checkbox"/> 利用者の健康状態や生活上の留意点等を訊きたい時 | 68人 |
| <input type="checkbox"/> その他() | |
- 状況報告、情報交換
 - ケアマネジャー担当の挨拶
 - サービス導入についての意見、確認
 - 軽度者の申請にコメント依頼、福祉用具貸与(軽度者) 5名
 - 主治医から相談、紹介されたケースの報告

- [4] 連絡票を活用して良かったことがありましたか(複数回答可)
- | | |
|---|-----|
| <input type="checkbox"/> 医師との関係を築くことができた | 23人 |
| <input type="checkbox"/> ケアマネの考えや思いを伝えることができた | 34人 |
| <input type="checkbox"/> 利用者の健康状態を知ることができた | 26人 |
| <input type="checkbox"/> 生活上のアドバイスや助言を貰い、安心してマネジメントができた | 46人 |
| <input type="checkbox"/> その他 | |
- 医師の都合に関係なく送付できるところが良い。多忙なDrに対し連絡がしやすい
 - 医師と連絡を取る際に以前より取り組みやすくなった 2名
 - 連絡を取ることの精神的プレッシャーが軽減された
 - 簡単なことは訪問しなくても答えてもらうことができた
 - Drから返信が症状が理解しやすく、サービス事業所への情報提供が確実に行えた

- [5] 連絡票を利用して困ったことがありましたか?
- | | |
|------------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> あった | 19人 |
| <input type="checkbox"/> ない | 51人 |
- 医師から「この用紙はどうしたらいいの?」と質問された
 - 医師から「急に事業所から沢山FAXが来て困っている。」と言われた
 - 返信がない。

- [6] 今後も連絡票を活用していきたいですか
- | | |
|-------------------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> 活用していきたい | 62人 |
| <input type="checkbox"/> あまり活用したくない | 10人 |
| <input type="checkbox"/> 活用したくない | 2人 |
- 時と場合によって、必要に応じて利用したい
 - 医師により対応の違いがあり返信してもらえない不安
 - 理解のない医師があり、活用しても意味が無い

- [7] その他、ご意見をお書き下さい。
- 連絡票をFAXする際の電話による事前連絡が必要な場合とそうでない場合がDrによって異なる。
 - 医師会、協会合同で連絡表作成し活用に繋がれたことはとても素晴らしい取り組みだったと思う。現場にとっても有効。仕組みを変えていくためには、団体へ働きかけることが重要だなあと改めて思った。
 - 先生がきちんと連絡票を返してくださりありがたかった。ケアマネジメントに自信が持てるようになった。医師との連携は大事なので、必要時には活用したい。
 - 開業医の先生からかなりの比率で返事がありとても有効。発行元の「医師会・ケアマネ協会」の医師会というのがかかなり重要だったと思う。「3年もかけてやっと」と言っておられたが十分な成果があってよかった
 - 状況や使用する目的により多少アレンジして使用している。
 - 総合病院への使用が出来るようになって助かる。
 - 返事が無くても状況を知って貰う事で安心感がある。
 - 病院の医師への照会が困難な時、相談窓口を介して返答してもらえ便利である。
 - 医師への周知、徹底が必要 3名

医師とケアマネジャーの連絡票に関するアンケート集計 (医師からの回答)

1. この書式について必要だと思えますか?
①必要……37名 ②不要……3名 ③不明……2名
2. ①必要
- ア この書式が出来て良かったことがありますか(複数回答あり)
- ケアマネとの連絡がとりやすくなった …………… 17名
 - 患者さんの様子や介護サービスの内容がよくわかるようになった …… 24名
 - [その他]
 - 医師側の意向を伝えることが出来た、またケアマネの情報もつかめて良い
 - 受付など電話対応の手間がなくなった
 - ケアマネが患者さんの病気にについてどのよう理解しており、どう対処したいのかが少し分るようになった
- ②不要
- 見ないから
 - オンタイムに担当医に届かない
 - 混乱した為(医師の意見書が必要なか連絡票が必要なか、事務の間で混乱が生じた)
- イ この書式を使用して改善して欲しい箇所を具体的にお聞かせください
- 医師からケアマネへの連絡票もあればよい …………… 2名
 - (内1名は現在個人的に作って使用している)
 - 上段の方の日頃より…の文章はもっと簡潔にする。
 - 連絡方法…はかかりつけ医からの返信にした方がよい。
 - FAXを送りませとの電話は不要。
 - 往診日、診察日に対してケアマネの協力が必要、デイサービス等の日への変更は事前に相談が必要。
 - サービス担当者会議に(出席・欠席)であらかじめ出席に○印が付いて届けられたので混乱した。
 - この用紙のみで担当者会議をしないで済ませようとするケアマネが多い。お互い忙しいのは分るが相手の顔が分らないと仕事しにくい。
 - ケアマネ側からの医療者側への面談の依頼など書く項目があっても良いのではないかと。
 - 利用者の照会、相談の欄にケアマネの方針、困っていることなども率直に記載すればよいと思う。
 - 本人が必要としているサービス項目を記入して欲しい。

このアンケート結果をもとに、医師とケアマネジャーの連絡票を平成23年4月に改訂いたしました。皆様のお役に立てることができれば幸いです。今後もよろしくお願い致します。



らくらくタイコー

福祉用具レンタル・販売・住宅改修
セーフティホーム 24

松江市北田町 63 番地 4

TEL0852-22-3553 FAX0852-22-3555

福祉機器販売・レンタル

WEED

株式会社 **ウィードメディカル**

島根県松江市東津田町 1731-10

☎ 0852-60-2661 FAX 0852-60-2664

ストレスは涙とともに流しましょう!

日々、様々なことがあります。どうしてもうまくいかないことがあると、その積み重ねがストレスとなってしまいます。溜まったストレスを発散させる方法は人によって様々(身体を動かす・笑う・話をする・飲み会を開くetc…)だと思いますが、今回おすすめさせていただくのは…今、日本中で話題(!?)の「セロトニン」を増やしましょう!ということです。(どこかの通販みたい…)

「セロトニン」って何?…心の高ぶりを鎮め、「ほっと」落ち着かせ、安らぐ気持ちを作り出すのが「幸せ脳内物質・セロトニン」です。

「でも、どうやってセロトニンを増やすの?」…ということ…

ポジティブ・シンキングの影響で笑うことは良いこと、泣くのはあまり良くないことという風潮がありました。笑うことはもちろん良いことですが、実は涙を流して泣くこともストレスを解消するセロトニンを増やす効果があるのです。

色々な種類の涙がありますが、もっともセロトニンに作用するのは「感動の涙」です。うれし泣き・くやし泣き・もらい泣きも入ります。感動する映画などを観て泣くという行為はストレス解消には、とても良いことなのです。

ぜひ、ストレスを発散させたい!な時には、感動の涙を流すことをおすすめします。ストレスは涙とともに流しましょう!
足立新之介

事務局より

☆ ホームページ開設しました ☆

既にご存知の方も多数おられるかと思いますが、平成23年2月16日(水)に松江地域介護支援専門員協会のホームページを開設致しました。皆様に幅広く閲覧して頂く事でケアマネ協会の活動内容をお知らせすると共に、開催予定の研修案内をリアルタイムで皆様にお知らせ致します。また、このホームページは松江社会福祉協議会とも協賛しており、介護保険に関する情報等も随時掲載していきます。

パスワード不要、[松江地域介護支援専門員協会](#)と入力するだけで簡単に検索できますので、是非お役立て下さい。

☆ 会費納入方法の変更について ☆

島根県介護支援専門員協会からの提言により、平成24年度から「口座引き落とし」に移行する運びとなりました。円滑な会費納入事務の遂行を目的とし、県内各圏域と足並みを揃えた取り組みとなりますので、何卒、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。なお、平成23年度分につきましては、従来通り、振り込み方式にて会費を徴収させて頂きます。



編集後記

このたびの東北地方太平洋沖地震により、お亡くなりになった方々とそのご遺族に対し、深くお悔やみを申し上げます。被災された方々には謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

今回の件で、日本人の協力しあう、励ましあう行動…また、日本だけではなく世界各国からの心温まる支援やメッセージ…改めて支え合うことの大切さを感じています。

ケアマネかわら版、今期も3回発行しました。タイムリーな活動・研修報告や様々な豆知識等々…会員の皆様にお伝えすることができましたでしょうか?お役に立てることができましたでしょうか?楽しんでいただけましたでしょうか?今後も色々な情報発信の場になればと思い、努力してまいります。来期もよろしくお祈り致します。